

ここがポイント!

- 1 デジタルエコノミー時代に不可欠なテクノロジー・インフラに関連する株式やREITが主要投資対象
- 2 爆発的に拡大するデータ量や物流量の恩恵を受ける投資コンセプト
- 3 個人から企業までがユーザーとなり、当たり前のようにテクノロジー・インフラを活用する新時代の到来
※当ファンドにおけるテクノロジー・インフラとは、データセンター、eコマース関連(物流)施設、通信タワー等とします。

テクノロジー・インフラがライフスタイルに関わっています



① データセンター

大量のデータを保管し、高速に処理するサーバーやネットワーク機器を設置・運用する施設

多くの企業は、自社ではなく、先進的なデータセンターを活用して、サーバーやネットワークを利用

② eコマース関連施設

多種多様な商品を、高頻度で配送するための高効率な物流施設

従来型の単純な倉庫ではなく、ロボット等多くの先進機器を配し、急拡大するeコマースに対応

③ 通信タワー

あらゆるものをインターネットにつなぐ電波を送受信する基地局などを設置

IoTやモバイル端末の普及を背景とする無線通信の大容量化・高速化に対応



Morningstar Award “Fund of the Year 2020” オルタナティブ型 部門 優秀ファンド賞受賞

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。オルタナティブ型 部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド540本の中から選考されました。

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードからは是非ご覧ください。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)等をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

パインブリッジ・グローバル・
テクノロジー・インフラ・ファンド
愛称: 未来インフラ
(追加型投信/内外/資産複合)

販売用資料
(月次レポート)

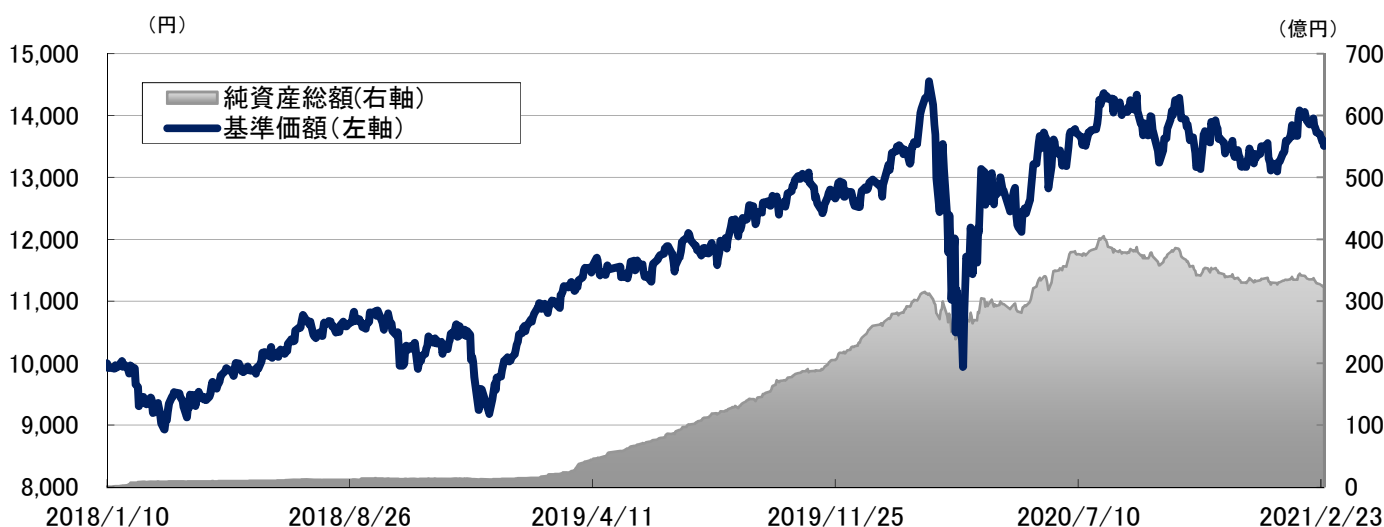
2021年2月号 (2021年2月26日現在)

パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド

設 定 日	2018年1月10日
信 託 期 間	2027年12月30日まで
決 算 日	12月15日(休業日の場合は翌営業日)

基 準 価 額	13,509 円
純 資 産 総 額	322.8 億円

基準価額・純資産総額の推移 (2018/1/10~2021/2/26)



* 基準価額は信託報酬(年1.58%+消費税)控除後のものです。

ファンドの収益率

過 去 1 カ 月	-1.2%
過 去 3 カ 月	0.1%
過 去 6 カ 月	-4.2%
過 去 1 年	4.0%
過 去 3 年	45.9%
設 定 来	35.1%

* ファンドの収益率の算出には「分配金込み基準価額」を用いており、過去に支払った分配金を分配日に再投資したと仮定して計算しています。なお、再投資する際に税金は考慮していません。基準価額は信託報酬控除後のものです。収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

資産構成配分比率

マザーファンド	100.2%
現 金 等	-0.2%

基準価額の変動要因(当月)

有 価 証 券 要 因	▲406円
為 替 要 因	256円
信 託 報 酬 等	▲19円
分 配 金	0円
当 月 の 騰 落 額	▲169円

*上記の要因分析は、委託会社独自の見解に基づいて行った試算です。

分配金実績(1万口あたり、課税前)

2018/12/17	0円
2019/12/16	0円
2020/12/15	0円
2021/12/15	-
2022/12/15	-
直近5期合計	0円
設定来合計	0円

*分配金実績(1万口あたり、課税前)は、運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

※当資料における基準価額は1万口当たりで表示しています。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)等をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド
 愛称: 未来インフラ
 (追加型投信/内外/資産複合)

販売用資料
 (月次レポート)

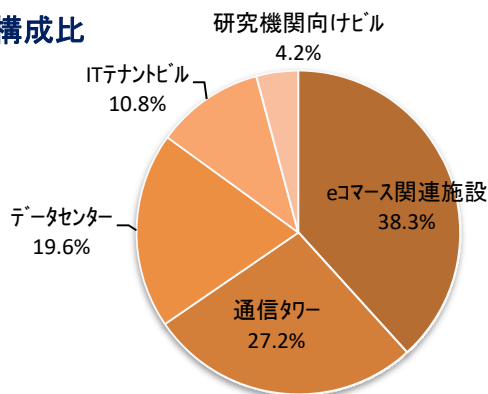
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・マザーファンドの組入状況

◆組入上位10銘柄

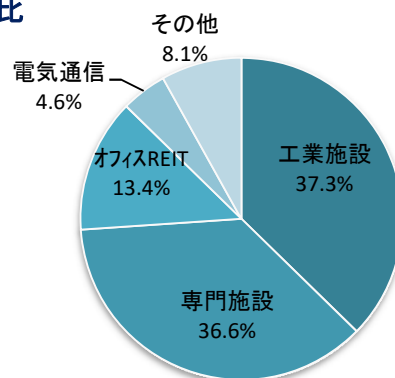
銘柄名	国	テーマ *1	業種 *2	種別	配当利回り*3	構成比率
プロロジス	米国	eコマース関連施設	工業施設	不動産投資信託	2.5%	8.6%
アメリカン・タワー	米国	通信タワー	専門施設	不動産投資信託	2.2%	8.1%
エクイニクス	米国	データセンター	専門施設	不動産投資信託	1.8%	8.0%
デジタル・リアルティ・トラスト	米国	データセンター	専門施設	不動産投資信託	3.4%	6.7%
SBAコミュニケーションズ	米国	通信タワー	専門施設	不動産投資信託	0.9%	6.2%
クラウン・キャッスル・インターナショナル	米国	通信タワー	専門施設	不動産投資信託	3.4%	4.3%
セグロ	英国	eコマース関連施設	工業施設	不動産投資信託	2.4%	3.8%
アメリカールド・リアルティ・トラスト	米国	eコマース関連施設	工業施設	不動産投資信託	2.4%	3.2%
グッドマン・グループ	オーストラリア	eコマース関連施設	工業施設	不動産投資信託	1.8%	3.1%
デューク・リアルティ	米国	eコマース関連施設	工業施設	不動産投資信託	2.6%	2.8%

*1センタースクエアの分類に基づいて表示、*2 GICS分類に基づいて表示、*3 配当利回りは直近の配当実績に基づき年率換算、「-」表示は直近の配当実績なし

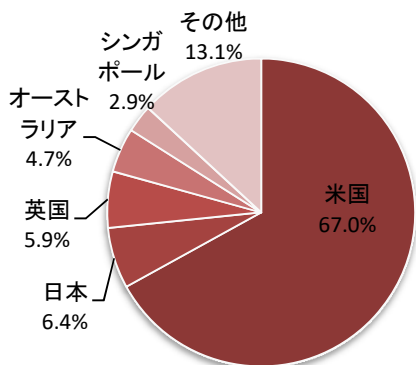
◆テーマ別構成比



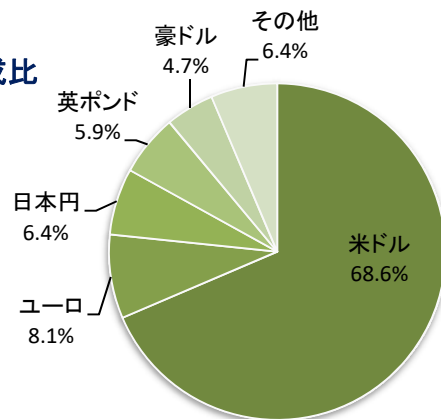
◆業種別構成比



◆国別構成比



◆通貨別構成比



※各構成比率、組入上位10銘柄の構成比率は、作成基準日時点の組入保有証券時価総額に対する比率です。また、数値は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆種別配分

不動産投資信託	89.9%
株式	10.1%

※作成基準日時点の組入保有証券時価総額に対する比率です。

◆ポートフォリオの特性値

平均配当利回り	2.6%
銘柄数	46

※キャッシュ等は特性値算出データから除いています。

■本資料はパインブリッジ・インベストメント株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)等をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

パインブリッジ・グローバル・
テクノロジー・インフラ・ファンド
愛称: 未来インフラ
(追加型投信/内外/資産複合)

販売用資料
(月次レポート)

市場動向

当月の米国REIT市場は上昇し、米国株式市場の上昇幅を上回りました。米国株式は、月初から、民主党が財政調整法を用いて追加景気対策を単独でも成立させるとの観測や、ワクチン接種が進み経済活動が正常化に向かうとの期待感などを背景に堅調に推移しました。しかし月末にかけては長期金利の一段の上昇などが嫌気され、ハイテク株主導で上昇幅は縮小しました。

為替市場では、米国で、名目金利だけでなく実質金利も上昇したことや雇用関連以外の主要経済指標が概ね良好な結果となったこと、更に日米金利差の拡大などを背景に円安米国ドル高となりました。

運用報告

当月の地域別パフォーマンスは、カナダを除く全ての地域でマイナス寄与となりました。最もマイナス寄与となったのは、米国、次点でヨーロッパとなりました。

テーマ別では、ITテナントビルセクターがプラス寄与、その他のセクターはマイナス寄与となりました。中でも、データセンターセクターやeコマース関連施設セクターは大きくマイナス寄与となりました。また、個別銘柄では、サミット・インダストリアル・インカム・リート(カナダ・eコマース関連施設)、ハドソン・パシフィック・プロパティーズ(米国・ITテナントビル)などの保有が奏功しました。

上記のような市場環境のもと、組入有価証券がマイナス寄与、為替がプラス寄与となり、前月末に13,678円だった基準価額は、当月末には13,509円となりました。

運用方針と今後の見通し

引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大、また、より感染力が強いとされる変異種の感染拡大など、今後も市場の不安定さが継続する可能性があるとの見方には変わりはありません。しばらくはこの状態が続くと思われませんが、各国ともに、ワクチン接種への取り組みや、景気対策、金融市場対策としてあらゆる手段を講じています。マクロ経済環境の見通しについては引き続き注視していきますが、REIT市場の中期的な見通しについては楽観的に見えています。また、この低金利の現状も、REIT市場にとって魅力的な環境であると考えています。REITのファンダメンタルズは概ね健全であり、魅力的なバリュエーション水準、高い配当利回りなどを背景に健全な状況が継続していくと思われま

このような環境下、当ファンドは、引き続き、日本を含む世界各国の取引所に上場されているテクノロジー・インフラに関連するREITおよび株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長を目指します。

※運用コメントは、運用指図権を委託しているセンタースクエア・インベストメント・マネジメント・エルエルシーの運用コメントに基づき、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社が作成したものです。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)等をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様にご帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

ファンドの特色

- 1 パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所に上場されている(これに準ずるものを含みます。)テクノロジー・インフラ※に関連するREITおよび株式を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長を目指します。
※テクノロジー・インフラとは、データセンター、通信タワー、eコマース関連施設、テクノロジー関連施設等を指します。
●当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。
- 2 マザーファンドの運用にあたっては、センタースクエア・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(CenterSquare Investment Management LLC)に運用に関する権限の一部を委託します。
- 3 実質組入れの外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 4 年1回(12月15日、休業日の場合は翌営業日)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。なお、将来の分配金が保証されているものではなく、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。

リスクおよび留意点

当ファンドは、主としてマザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所に上場されている(これに準ずるものを含みます。)テクノロジー・インフラに関連するREITおよび株式に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替変動リスクもあります。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属しますので、お申込みにあたりましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえ、お申込みください。当ファンドが有する主なリスク要因は、以下の通りです。

◆価格変動リスク

当ファンドの実質的な主要投資対象であるREITおよび株式の価格は、一般に、経済・社会情勢、企業業績、発行体の信用状況、経営・財務状況ならびに市場の需給等の影響を受け変動します。組入銘柄の価格の下落は、当ファンドの基準価額を下落させる要因となります。

◆為替変動リスク

当ファンドは外貨建のREITおよび株式を実質的な主要投資対象とし、原則として為替ヘッジを行わないため為替変動リスクを伴います。外国為替相場は、金利変動、政治・経済情勢、需給その他の様々な要因により変動します。この影響を受けて外貨建資産の価格が変動し、基準価額が下落することがあります。一般に、円安は基準価額の上昇要因に、円高は基準価額の下落要因となります。

◆信用リスク

組入有価証券等の発行体の財務状況の悪化等の理由による価格の下落、配当の支払不能または倒産等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。

◆流動性リスク

組入有価証券等を売買しようとする場合に、市場の需給状況により、希望する時期および価格で売買できないリスクをいいます。この影響を受け、基準価額が下落することがあります。

◆REIT固有の投資リスク

・REITの投資対象が主に賃貸不動産であり、景気動向や不動産市況等が保有不動産の入居率、賃貸料等に影響し、REITの収益に影響を与え資産価値の下落をもたらすことがあります。

・金利変動による相対価値の変化および不動産価値の変化ならびに不動産開発にかかる資金調達コストの変化等の影響を受けます。

・不動産等にかかる法制度(税制、建築規制等)の変更が不動産価値および賃貸収入等の低下をもたらした場合には、その影響を受けます。

・テロ活動・自然災害等による不測の事態が発生し、不動産価値および賃貸収入等の低下をもたらした場合には、その影響を受けます。

◆特定の業種・テーマへの集中投資リスク

当ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。

※収益分配金に関する留意点

収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて行う場合があります。したがって、収益分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。また、投資者の個別元本の状況によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部戻しに相当する場合があります。なお、収益分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金の支払いは純資産総額の減少につながり、基準価額の下落要因となります。計算期間中の運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)等をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

パインブリッジ・グローバル・
テクノロジー・インフラ・ファンド
愛称: 未来インフラ
(追加型投信/内外/資産複合)

販売用資料
(月次レポート)

お申込みメモ

- 信託設定日 2018年1月10日
- 信託期間 2027年12月30日まで
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 (※基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 原則として毎営業日の午後3時までに販売会社が受付けた購入および換金のお申込みを当日受付分とします。
- 申込受付中止日 ニューヨーク証券取引所の休業日、またはニューヨークの銀行休業日のいずれかと同じ日付の場合
- 換金制限 信託財産の資産管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
- 繰上償還 受益権の総口数が20億口を下回るようになった場合は、委託会社は受託会社と合意のうえ、この投資信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
- 収益分配 年1回、収益分配方針に基づいて分配を行います。
- 課税関係 課税上は株式投資信託として取扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。

※詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

投資信託には、ご購入・ご換金時に直接ご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

■ 購入時に直接ご負担いただく費用

購入時手数料: 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に3.85%(税抜3.5%)の率を乗じて得た額を上限として、販売会社が定めるものとします。

■ 換金時に直接ご負担いただく費用

換金時手数料: かかりません。

信託財産留保額: かかりません。

■ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬): 信託財産の純資産総額に年1.738%(税抜年1.58%)の率を乗じて得た額とします。

その他費用・手数料:

・有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の保管費用等(REITは、市場の需給により価格形成されるため、REITの費用等は表示しておりません。)

・当ファンドの監査費用や印刷等費用(信託財産の純資産総額の年0.11%(税抜年0.1%)を上限とします。)

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。))には消費税等相当額が含まれます。

※費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社: パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第307号
加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
- 受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社
- マザーファンドの投資顧問会社: センタースクエア・インベストメント・マネジメント・エルエルシー
- 販売会社: 委託会社の指定する金融商品取引業者および登録金融機関

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)等をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

販売会社情報 (五十音順)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第12号	○			
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金)第6号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品 取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○		○	○
極東証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第65号	○			○
岐阜信用金庫 <small>*岐阜信用金庫は信金中央金庫の 取次販売会社です。</small>	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第35号	○			
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金)第11号	○		○	
四国アライアンス証券 株式会社	金融商品 取引業者	四国財務局長 (金商)第21号	○			
十六TT証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長 (金商)第188号	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第114号	○			
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第17号	○			
中銀証券株式会社	金融商品 取引業者	中国財務局長 (金商)第6号	○			
東洋証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第121号	○			○
西日本シティTT証券 株式会社	金融商品 取引業者	福岡財務支局長 (金商)第75号	○			
八十二証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第21号	○	○		
浜銀TT証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第1977号	○			
広島信用金庫 <small>*広島信用金庫は信金中央金庫の 取次販売会社です。</small>	登録金融機関	中国財務局長 (登金)第44号	○			
百五証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長 (金商)第134号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第152号	○	○		

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)等をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

販売会社情報 (五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行 (インターネットバンキング専用)	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第5号	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者三菱UFJモル ガン・スタンレー証券株式会社) (インターネットトレード専用)	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第5号	○	○	○
三菱UFJモルガン・ スタンレー証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第2336号	○	○	○
三菱UFJ信託銀行 株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第33号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○

投資信託に関する留意点

◇投資信託をご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)等は販売会社の本・支店等にご用意しています。◇投資信託は元本保証および利回り保証のいずれもありません。◇投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。◇投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。◇証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。◇投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。◇ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

お問い合わせは・・・パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

<https://www.pinebridge.co.jp/> TEL: 03-5208-5858(営業日の9:00~17:00)

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)等をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようにお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。